

令和5年度進行管理・評価シート

下野市 歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）
（最終変更 令和6年3月22日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 重点区域における良好な景観を形成する施策	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 下野薬師寺跡保存整備事業	3
2 史跡等公有化事業	4
3 歴史的風致形成建造物の調査・継承支援事業	5
4 学びの場活用事業	6
5 天平の丘公園・下野国分寺跡を活用したイベント事業	7
6 歴史文化発信事業	8
7 ローカルガイド育成事業(文化財観晃ガイド養成事業)	9
8 民俗芸能・伝統行事継承事業	10
9 伝統文化体験事業	11
10 歴史学習事業	12
11 干瓢生産・消費推進事業	13
12 干瓢生産道具保存活用事業	14
13 天平の丘公園再整備事業	15
14 下野薬師寺いにしへの道整備事業	16
15 情報案内・説明板設置事業	17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 文化財の修理・整備に関する取組み	18
2 文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組み	19
3 文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組み	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 下野市の文化財保存活用計画 国が認定、事業加速	21
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 ローカルガイド育成事業(文化財観晃ガイド養成事業)における文化財観晃ガイド養成講座の受講者数	22
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	23

評価軸1-1

組織体制

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 歴史的風致維持向上計画の推進体制は、都市計画課と文化財課を中心とし、関係各課と連携を図りながら、下野市歴史的風致維持協議会において計画推進や計画変更、効果的かつ円滑な事業実施に向けた協議を行い、事業の推進を図る。
 具体的な事業や取組みの実施に関しては、国や栃木県の指導を仰ぎながら、庁内各関係課と連絡調整を行いつつ、事業対象となる文化財の所有者や周辺住民等と協議のうえ実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

第6回(令和5年度)歴史的風致維持向上協議会を令和6年2月29日に開催した。

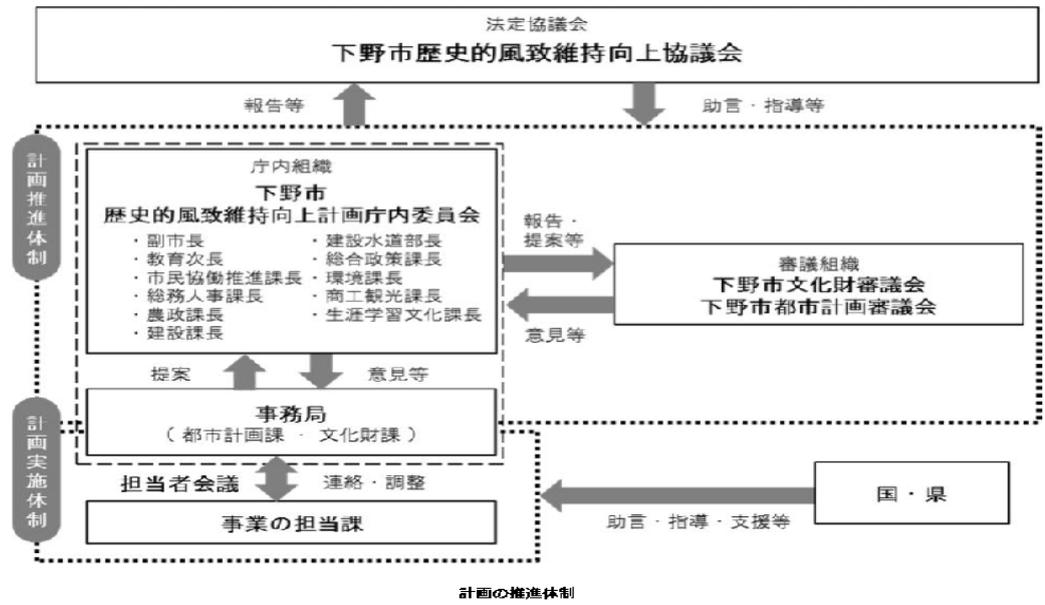
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各種事業を円滑に推進していくため、各種補助事業の積極的な活用を図った。 引き続き国庫補助の積極的な活用を推進するとともに、歴史まちづくりに関する情報を発信し、市民の意識向上を図る必要がある。
--	--

状況を示す写真や資料等



第6回(令和5年度)下野市歴史的風致維持向上協議会の開催
 令和6年2月29日(木)
 議題 (1)下野市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について
 (2)下野市歴史的風致維持向上計画の中間評価について



評価軸2-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
重点区域における良好な景観を形成する施策 (1) 都市計画との連携 (2) 景観施策との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 歴史的風致維持向上計画に位置付けられている重点区域については、市街化調整区域となっているため、都市計画及び建築の制度や誘導施策と連携しながら、両重点区域の更なる歴史的風致の維持向上を図る。栃木県の屋外広告物条例及び市の景観条例に基づき歴史的風致の維持向上を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国の指定文化財である下野薬師寺跡及び国分寺跡、国分寺尼寺跡と緑地環境地域の国分寺跡周辺については、栃木県屋外広告物条例により、屋外広告物の掲示禁止地域に定められている。また、令和3年度に策定した景観計画において、市全域を景観形成区域とし、重点区域を景観形成重点区域の候補地とした。令和4年度から市景観条例に基づく届出受付を開始し、景観形成を推進している。

進捗状況 ※計画年次との対応

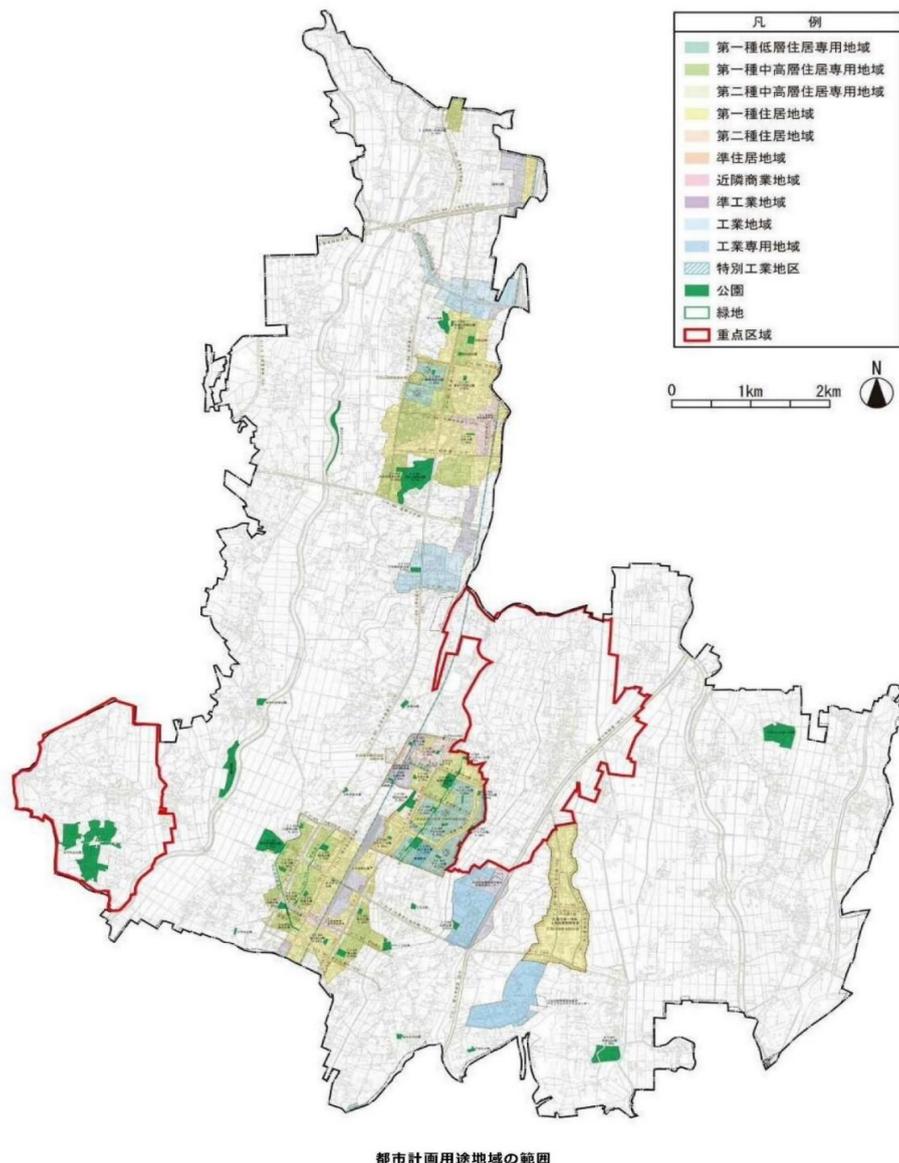
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

景観計画で定めた景観形成重点区域の指定方針のもと、重点区域における地域住民等の景観形成に対する意識の熟度に応じ、景観形成重点区域化を検討する。

状況を示す写真や資料等

第4章 重点区域の位置及び範囲



都市計画用途地域の範囲

評価軸3-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
下野薬師寺跡保存整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金

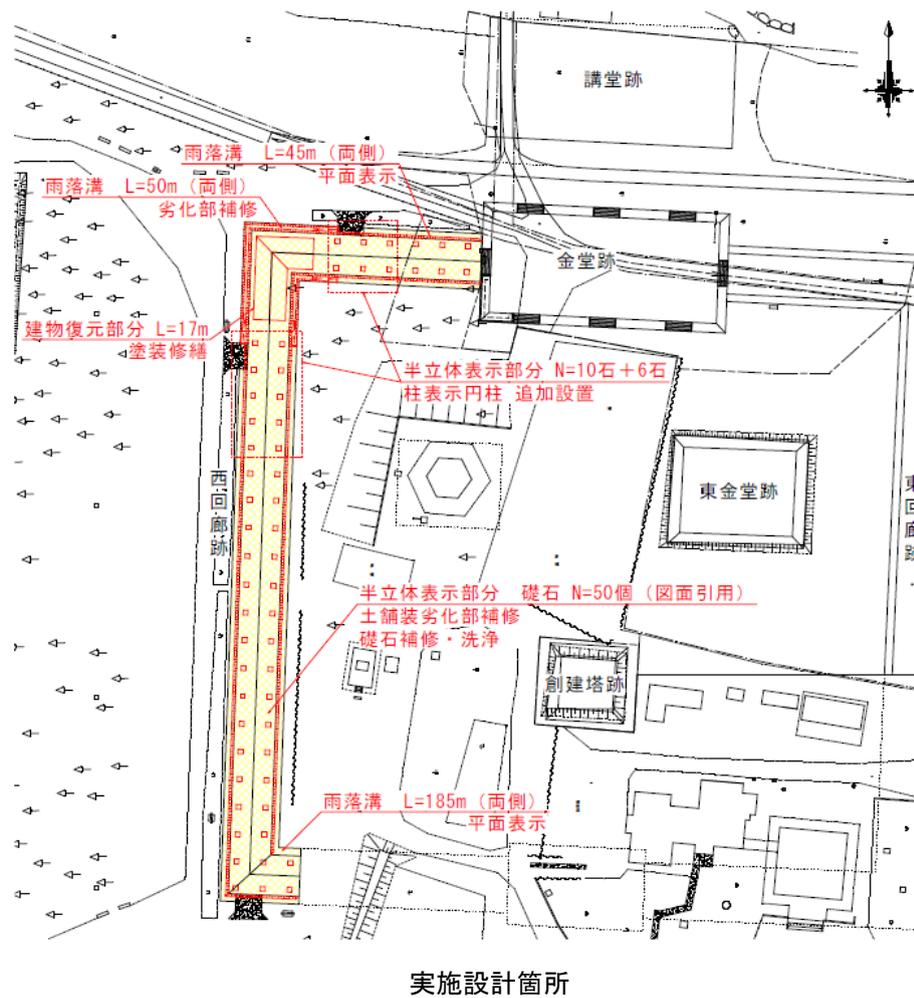
計画に記載している内容 発掘調査の結果に基づき、当時の伽藍の基壇の復元等を行うとともに、既整備範囲についても再整備事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

下野薬師寺跡第3期保存整備基本計画・基本設計に基づき、令和7年度施工予定箇所(復元回廊・基壇)の実施設計を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	整備事業に当たっては現薬師寺との調整が必要となるため、十分に協議を行っていく。

状況を示す写真や資料等



評価軸3-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
史跡等公有化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和7年度

支援事業名 史跡等購入費補助金

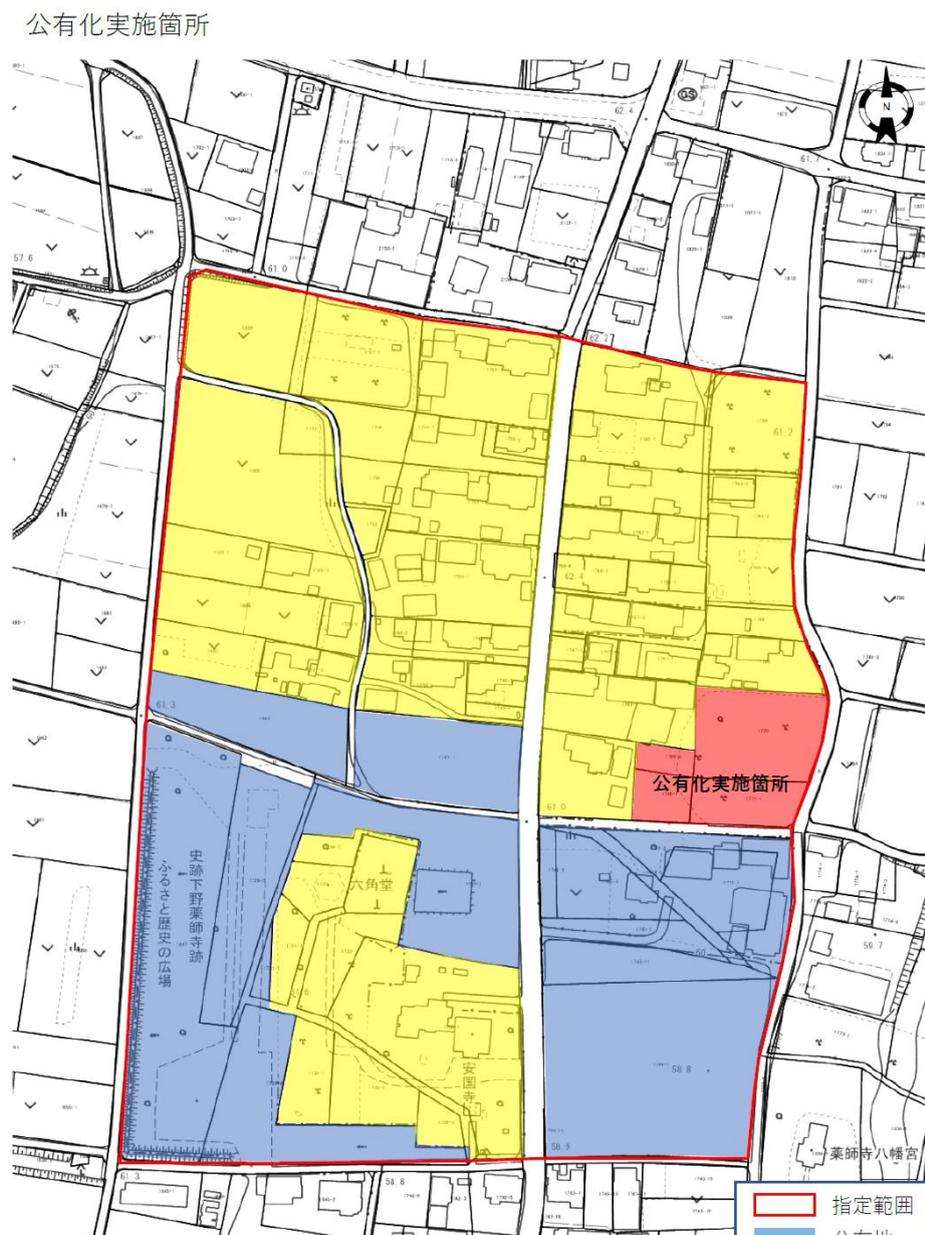
計画に記載している内容 史跡下野薬師寺跡の推定東門周辺地区の整備事業を実施するため、土地の公有化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

推定東門周辺の指定地(山林・雑種地等、3263.81㎡)についての公有化を行った。竹木については地下遺構への影響を考慮し、伐採のみとした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡指定地内で空き家となっている住宅があるため、公有化を検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



評価軸3-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
		項目	現在の状況
		歴史的風致形成建造物の調査・継承支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	これまでに十分に調査されていない歴史的建造物について、総合的に把握するとともに調査を実施する。また、調査等に基づき歴史的風致形成建造物を指定し、保存を図るために修理等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内に所在する歴史的建造物3棟(国分寺釈迦堂、薬師寺八幡宮拝殿、薬師寺六角堂)について小山工業高等専門学校と協力し詳細調査を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	調査済みの地区以外にも歴史的建造物が残る地区があり、継続した作業が必要である。また、歴史的風致形成建造物への指定等についての基準を設けたうえで、今後指定を行っていく。		

状況を示す写真や資料等



国分寺釈迦堂の調査



薬師寺八幡宮の棟札

評価軸3-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
		項目	現在の状況
		学びの場活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	国分寺西小学校(平成31(2019)年4月1日に国分寺小学校に再編)の校舎の一部を利用して、干瓢生産道具を主とした農業に関する民俗資料や埋蔵文化財、古文書等の歴史資料を収集・保管・展示する施設として整備し、これらの資料を使用して、歴史と文化を学び、体験する施設として活用する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
事業見直しに向けて市内の他施設活用も含めた検討を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		都市計画法に基づく事務手続きや、既存施設の利用等の検討が必要。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸3-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
天平の丘公園・下野国分寺跡を活用したイベント事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和7年度

支援事業名 都市再生整備計画事業(R3より)・市単独事業

計画に記載している内容 天平の丘公園については、春の花まつり期間、下野国分寺跡については史跡愛好家の来訪がそれぞれ集客のメインになっている。
天平の丘公園再整備により通年での来園者を見込むが、更なる来園者の増加と、史跡地の周知及び積極的な活用を図るため、様々なイベントを実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

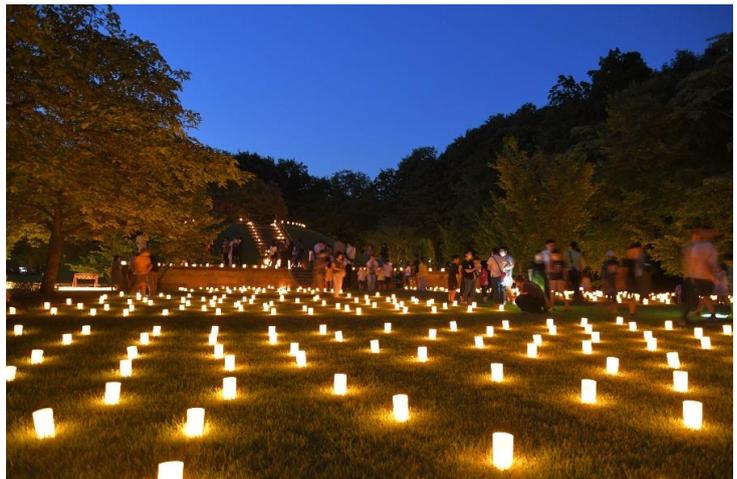
4年ぶりに開催した「天平の花まつり」では約85,000人の来場があり、夏のイベント「しもつけ燈桜会」には約5,000人の来場があった。また、公園の魅力を知ってもらおうきっかけづくりとして、宇都宮駅発着型の天平の丘公園散策バスツアーを開催し、県内から21人の参加があった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	コロナ禍を経て、イベントに対する楽しみ方も変わってきており、アンケート等により来場者ニーズを把握するなど、既存イベントのブラッシュアップや新たなイベントの創出を進める。

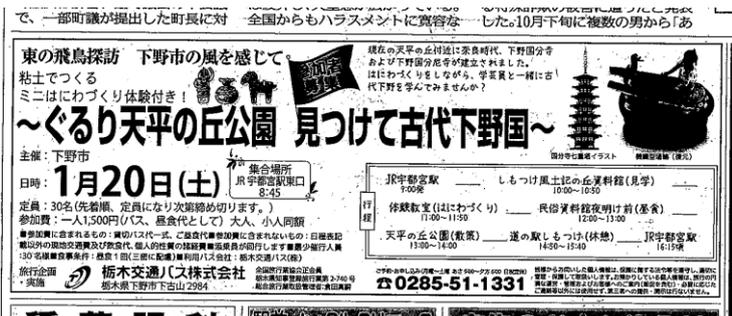
状況を示す写真や資料等



天平の花まつりの様子



しもつけ燈桜会の様子



天平の丘公園散策バスツアーの様子



評価軸3-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
歴史文化発信事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市の歴史的風致を紹介するパンフレットの作成を行うほか、VR等を活用した歴史的風致形成建造物等の復元等を行い公開し、児童・生徒や来訪者に対し市の歴史的風致の魅力の発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

これまでのVR等を活用した情報発信の他、本市の歴史的な特性である「東の飛鳥」をまちづくりのブランドとして活用し、歴史文化の情報発信を積極的に行った。下野薬師寺跡でのエゴマ灯明の会(参加者約500人)や梅まつりのほか、東の飛鳥ツーリズム(モニターツアー)、東の飛鳥シールラリー等を実施し、「東の飛鳥」下野市としての認知度の向上を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

「東の飛鳥」としての情報発信のほか、学校との連携も積極的に進める必要がある。

状況を示す写真や資料等



「東の飛鳥」ロゴ



エゴマ灯明の会

Higashi no Asuka Project Well-Being City SHIMOTSUKE

東の飛鳥シールラリー 2023-2024

開催期間 12.24 ~ 2.12

下野周遊 巡る幸せ 紡ぐ幸せ

【東の飛鳥シールラリー参加方法】

- ①シールラリー期間中、上記のシールラリー参加施設を巡りシールを入手してください。 ※店舗限定では賞物した方が対象となります。
- ②入手したシールは専用のシールホルダーに貼り付けてください。 ※シール貼り付け場所は施設ごとに定められているのでご注意ください。
- ③エリア(石橋・自治会・小売)ごとに3ヶ所以上、合計9ヶ所以上 巡りシールを入手した方(所要300名)には、記念品として「東の飛鳥オリジナルトートバック」を贈呈します。

※記念品は先着順です。【東の飛鳥シールラリー】「しるしついで」東の飛鳥の歴史資料館の2ヶ所です。

【お問い合わせ】東の飛鳥プロジェクト運営事務局
 〒328-0417 栃木県下野市宮原町 8210
 文字の森公園内「市民会館」2階 2023-04-19 10:00～16:00
 電話 0283-22-1105 Mail: info@higashinoasuka.jp

【主催】下野市教育委員会事務局 文化財課
 〒328-0492 栃木県下野市宮原町 20 (庁舎3階)
 電話 0283-22-1105 Mail: bunka@city.shimotsuke.lg.jp

シールラリーチラシ



東の飛鳥ツーリズム

評価軸3-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況
ローカルガイド育成事業(文化財観覧ガイド養成事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 史跡下野薬師寺跡や下野国分寺跡等に訪れる来訪者等に対し案内・説明を行うガイドを養成するために、講習会やガイド認定制度の導入を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

しもつけ風土記の丘資料館や下野薬師寺歴史館での体験講座等をガイドの協力を得て実施するとともに、下野薬師寺跡梅まつりでのガイドや、天平の桜歌会(3/24実施)において周辺文化財のガイドを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

次年度以降、ガイドの資質向上等を図るため積極的に養成講座等を実施する必要がある。

状況を示す写真や資料等



下野薬師寺跡梅まつりでの解説



下野薬師寺歴史館ワークショップへの協力



古墳ジオラマづくりへの協力

評価軸3-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
		項目	現在の状況
		民俗芸能・伝統行事継承事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の祭礼に伴う伝統芸能や地域に伝わる民俗行事等の基礎調査を実施することにより行事等の把握を行う。また、保存・継承のため、専門的な知見に基づき、記録や道具等の整備、後継者育成、情報発信等の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止されていた祭礼の再開状況について確認を行った。一部の祭礼等は以前より簡略化されたものも確認された。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		コロナ禍により中止されていた祭礼等が再開されているが、以前より簡略化・中止されたままのものもあるため、引き続き確認を行うとともに、記録の作成等を早期に行う必要がある。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸3-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
		項目	現在の状況
		伝統文化体験事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の祭礼に伴う伝統芸能や地域に伝わる民俗行事等を継承するために、将来の担い手となる小・中学生等に対し、ワラデッポウ作りやお囃子、太々神楽等の体験事業を行う。 また、次代を担う子どもたちに対して、地方公共団体や伝統文化等の指導者等が一体となって、地域ぐるみで民俗芸能、工芸技術、邦楽、日本舞踊、茶道、華道などの伝統文化等を体験・習得できる機会を新たに設けることにより、子どもたちの体験機会を拡充し、併せて地域文化・地域人材の掘り起こしを図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・伝統文化親子教室を開催した。(茶道・華道・和琴) 教室の成果の発表の場として、文化noフェスティバルを開催した。(会場:市役所3階会議室) (来場者: R1 176名、R2 126名、R3 150名、R4 180名、R5 185名)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	子供達も楽しく参加しているので事業を継続できるよう、担い手が高齢化しているため、サポート等も継続して実施する。また、参加者の確保が毎年難しいことから、募集の周知方法を検討する。		

状況を示す写真や資料等



伝統文化親子教室(茶道)



伝統文化親子教室(茶道)



伝統文化親子教室(お琴)



伝統文化親子教室(生け花)

事業への参加者の推移	
R1: 延べ参加者	98人
R2: "	70人
R3: "	48人
R4: "	60人
R5: "	56人

伝統文化発表会より

評価軸3-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況
歴史学習事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 将来、歴史的風致の担い手となる小・中学生に対する歴史等への学習支援を強化し、学校や教育委員会、博物館が連携した歴史学習事業の展開を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

資料館での学校見学を市内外の38校で1,571人受け入れ、市内の小中学校への出前授業を5校(干瓢むき体験4校・下野市の歴史講座1校)で実施した。また、下野薬師寺歴史館において、近隣の義務教育学校との連携した体験事業を実施するとともに、下野国分寺跡でも小・中学校と連携した事業を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

継続して実施している事業であるが、子どもたちの興味関心を深められるよう、常に新たな取り組みを検討していく。

状況を示す写真や資料等



出前授業(干瓢むき)
祇園小学校(7/19)



小学生のふるさと学習
ジャンボかるた(11/16)



小学生の里山活動
下野国分寺跡(11/28)



小学生の資料館見学

評価軸3-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
	項目	現在の状況
	干瓢生産・消費推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 干瓢生産について、良質苗の提供や生産機械や施設整備への支援を行い、減少傾向にある干瓢生産の維持拡大を図っていく。
また、干瓢の消費については、毎年開催しているかんぴょうまつりや干瓢料理教室などの魅力発信に係るイベント等を開催し、消費拡大につなげていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

減少傾向にある干瓢生産量の維持拡大及び消費拡大を図るため、下記の支援等を行った。
 ■干瓢苗・種子購入への支援: 個人生産者やJAうつのみや、JAおやまの生産部会を通し、苗・種子購入費に対し1/2補助を行った。
 ■生産機械、施設整備の支援: 干瓢乾燥用ヒーター、乾燥用パイプハウス、干瓢剥き機等の整備を行った生産者に対し1/2補助を行った。
 ■消費拡大への取り組み: 新型コロナウイルスの影響により中止となっていた、「しもつけかんぴょうまつり」をグリムの館にて4年ぶりに開催し、干瓢の魅力発信・消費拡大を図った。また、昨年に引き続きゆうがおパークにて「かんぴょうづくしまつり」を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

引き続き干瓢の魅力発信に努めるべく、イベントの開催等を行う。
干瓢生産農家への支援を継続し、干瓢の生産振興を図る。

状況を示す写真や資料等



しもつけかんぴょうまつりのチラシ



かんぴょう剥き体験の様子



ふくべ細工絵付け体験の様子

評価軸3-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
干瓢生産道具保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	干瓢生産における夕顔の実を剥く道具は時代とともに変遷し、特徴的な変化があることからこれらの生産道具の調査を行い、国の登録有形文化財への登録を目指すとともに、干瓢剥き等の体験事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内の小学校への出前授業(干瓢むき体験等)を市内の小学校4校で実施したほか、しもつけ風土記の丘資料館で干瓢むき体験事業を実施した(参加者22人)。また、生産道具の国の登録有形文化財への登録に向けて報告書作成のための準備作業を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	体験授業は、学校と連携し継続して事業を進める。生産道具の調査は、知見者の高齢化等により、早期の記録・聞き取り作業が必要となる。		

状況を示す写真や資料等



資料館での干瓢むき体験(7/30)



小学校での干瓢むき体験(7/18)

評価軸3-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
天平の丘公園再整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度～令和7年度

支援事業名 都市再生整備計画事業(R3より)・市単独事業

計画に記載している内容 「天平の花まつり」の会場である天平の丘公園について、平地林の保全及び公園施設のユニバーサルデザイン化などを考慮した再整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

再整備事業として、西駐車場改修工事、秋山亭西側トイレ改修工事、平地林内樹木間伐を実施した。また、園内の借地について、一部公有化を進めた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

借地の公有化について地権者との協議を継続する。また、工事等の実施において、関係部署等との連携を図り、事業を円滑に進める。

状況を示す写真や資料等



西駐車場改修工事

評価軸3-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
	項目	現在の状況
	下野薬師寺いにしへの道整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和8年度

支援事業名 街なみ環境整備事業

計画に記載している内容
 重点区域の核となる重要な文化財である下野薬師寺跡周辺に所在する下野薬師寺歴史館、薬師寺(旧安国寺)、薬師寺八幡宮、龍興寺を結ぶルートである市道4101号線、4100号線、4131号線、及び7009号線において、安全な通行幅員の確保による周遊空間の創出又は歴史的情緒が体感できるような道路への美装化による修景を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度から文化財課及び都市計画課と連携し事業手法の検討を進めてきた。令和4年度に国土交通省住宅局所管の「街なみ環境整備事業」の新規採択を受け、「薬師寺地区まちなみ協議会」を発足した。「下野市薬師寺地区街なみ環境整備構想」を早期に策定し、令和8年度の事業完了を目指し整備の進捗を図る。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	<p>【街なみ環境整備事業スケジュール】</p> 令和2年度～令和3年度: 栃木県建築課との協議調整 令和4年度: 「薬師寺地区街なみ環境整備事業」新規採択、「薬師寺地区まちなみ協議会」発足、事業説明会、「下野市薬師寺地区街なみ環境整備構想」策定 令和5年度 現況測量業務委託(補助対象) 令和6年度 詳細設計業務委託(補助対象) 令和7年度～令和8年度: 美装化工事(補助対象) <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡や小公園の整備との連携が必要である。 ・無電柱化については、令和4年度栃木県無電柱化推進協議会ワーキンググループにおいて不合意となったため未実施となる。いにしへの道だけでなく県道を含めた検討が必要である。

状況を示す写真や資料等

実施(予定)事業概要図

凡例

	用地費	工事費
令和4年度まで(青)		
令和5年度(赤)		
令和6年度(緑)		
令和7年度以降(橙)		

①市道4101号線(施工例)
 道路美装化(歩道舗装)、電線地中化、案内表示板、照明設備(フットライト、街路灯)

②市道4100号線(施工例)
 道路美装化(石畳)、電線地中化、案内表示板、照明設備(フットライト、街路灯)

③市道4131号線(施工例)
 道路美装化(石畳)、電線地中化、案内表示板、照明設備(フットライト、街路灯)、休憩施設(四阿・トイレ)、駐車場整備

④市道7009号線(施工例)
 道路美装化(歩道舗装)、歩道設置(ブロック舗装)、電線地中化、照明設備(フットライト、街路灯)、案内表示板

⑤下野薬師寺歴史館駐車場修景
 案内表示板

⑥休憩施設
 ②市道4100号線について
 ・下野薬師寺跡の推定寺域内であるため、南側に付け替える必要がある。⑥付近。
 ③市道4131号線について
 ・市道4100号線と市道4131号線との接点(⑥付近)に休憩施設(四阿、トイレ)を設置する。

⑦御鷹山古墳の公有地化・公園整備
 歴史的風致形成建築物整備

事業概要: 国庫補助資料抜粋

評価軸3-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
情報案内・説明板設置事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年度～令和10年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 市内の説明板や案内板については、旧町時代に設置したものも多く、設置した部署により表示内容やデザイン等でかなりの違いが生じて統一感に欠けるため、令和3年度に策定した景観計画により統一した表示内容やデザイン等を検討し、景観計画に基づき設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

説明板や案内板の統一を図るため、各事業担当間での意見交換を行った。また、今後の案内板等の設置時期等を共有した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観計画との整合性を図りながら、下野市の景観及び歴史的風致にあった統一感のある案内板や説明板のデザイン案、サインのあり方等を検討し、整備を実施する。

状況を示す写真や資料等



市内における説明板・誘導板の現状写真

評価軸4-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
文化財の修理・整備に関する取組み	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

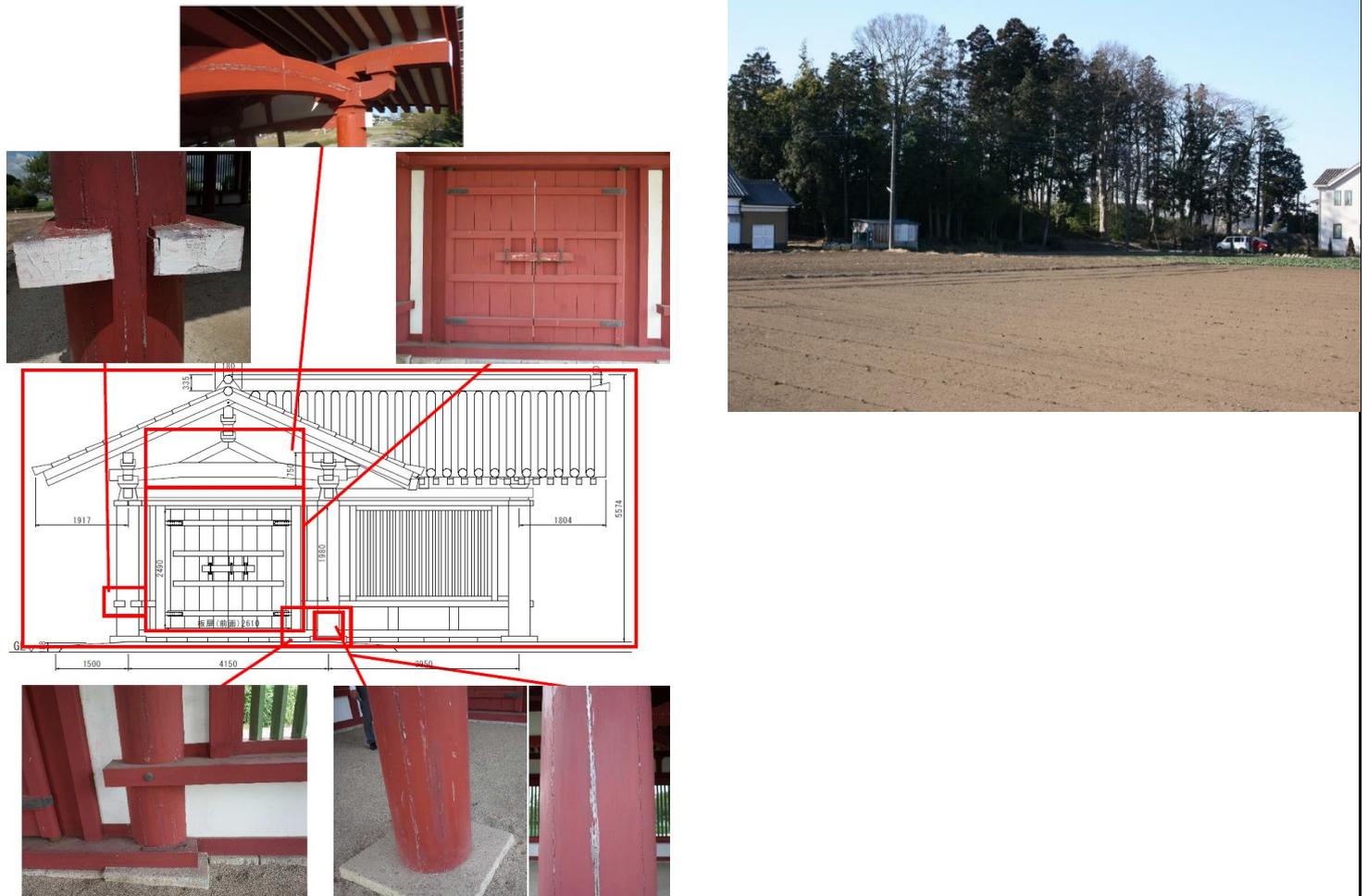
計画に記載している内容
 文化財の修理にあたっては、文化財の価値を維持もしくは復旧することを目的とし、関係機関や専門家と連携して行う。修理等に要する所有者等の財政的負担の軽減を考慮し、各種補助制度を積極的に活用する。史跡整備については、国の史跡である下野薬師寺跡の整備事業を進めるとともに下野国分寺跡と連携した取り組みを行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

下野薬師寺跡については、第3期保存整備基本計画、基本設計に基づき復元回廊の再整備工事についての実施設計を行った。また、歴史的風致形成建造物候補である御鷲山古墳については、歴史的風致形成建造物に指定したうえ、街なみ環境整備事業を活用して整備を行うこととし、所有者へ事業の説明等を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	最新の発掘調査成果などの情報を常に参照することにより、必要に応じ整備基本計画や整備事業計画を見直し、適時適切な事業推進を図る。

状況を示す写真や資料等



下野薬師寺跡復元回廊の塗装劣化状況

評価軸4-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 しもつけ風土記の丘資料館を下野市における埋蔵文化財の保存・収蔵とともに情報の発信拠点として位置づけるため、資料館のリニューアルを実施するとともに、下野薬師寺歴史館についても、展示等のリニューアルについて検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

しもつけ風土記の丘資料館については、常設展示室の全面改修や建物の増築等のリニューアルが完了し、令和3年5月2日にオープンすることができた。下野薬師寺歴史館については、今後のリニューアルに向けて資料等の調査を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 市内の資料館と、周辺自治体の史跡や資料館、栃木県立博物館などと連携しながら事業を実施する。

状況を示す写真や資料等



リニューアルしたしもつけ風土記の丘資料館の常設展示



下野薬師寺歴史館の展示

評価軸4-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用の普及・啓発に関する取組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	市内外の人々に文化財の存在や多様な価値を伝え理解を促す機会を提供するため、デジタルコンテンツの充実を図るとともに、パンフレットの作成や情報案内・説明板の設置、ローカルガイド育成等をおこなう。また、地域住民との連携や子どもたちに対する支援を強化し、民俗芸能や伝統行事の体験等を含めた歴史学習事業の展開を図る。加えて、地域住民や活動団体の発意による新たな歴史的風致の発掘・育成に対する支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本市の歴史的特性である「東の飛鳥」をまちづくりのブランドとして活用し、市内の史跡を巡るモニターツアー(40人参加)をはじめとした各種イベントを実施し、文化財の情報発信を積極的に実施した。また、ウォーキングイベントや天平の丘公園でのイベント等においてガイドによる解説等を行ったほか、市内の小学校と連携し、史跡等への理解を深めるためのふるさと学習(3校)を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	これまで制作したデジタルコンテンツをさらに充実するとともに、インバウンド需要の増大も見越し、多言語対応の拡充を図る必要がある。		
状況を示す写真や資料等			



モニターツアーでの資料館の見学



ウォーキングイベントでのガイドの解説

評価軸5-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和5年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
歴史と文化薫る桜の杜 心潤す「天平の丘公園」	2023/4/30	下野新聞	
昔ながらの手カンナで ユウガオの皮むき体験	2023/7/13	下野新聞	
かんぴょうむきや絵付け 子ども「観光大使」へ体験	2023/7/20	下野新聞	
4年ぶり八坂祭	2023/7/21	下野新聞	
往時の雄姿3Dで再現 文化財9カ所、動画公開	2023/7/29	下野新聞	
日本一のかんぴょう祭りで親しむ	2023/7/30	日本農業新聞	
下野薬師寺跡エゴマ灯明の会	2023/9/19	NHK宇都宮放送局「とちぎ630」	
古墳ジオラマづくりに挑戦	2024/1/24	下野新聞	
下野市「東の飛鳥プロジェクト」歴史を感じ親子で遊ぼう	2024/1/29	下野新聞	
県史跡「児山城址」「守り隊」恒例落ち葉さらい 石橋高生も初参加	2024/2/2	下野新聞	
天下の三戒壇・下野薬師寺	2024/2/24	とちぎテレビ「とちプラ」	
山王山南塚古墳発掘調査	2024/3/12	NHK宇都宮放送局「とちぎ630」	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

下野市歴史的風致維持向上計画、下野市文化財保存活用計画が認定されたことにより、市民の意識の向上がみられ、文化財の保存会等の活動が活発となり、新聞等に取り上げられる機会が増えている。また、かんぴょうに関する新聞記事もみられ、広く注目を集めるようになってきている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	引き続き、歴史まちづくりへの関心や理解を深めるため、新聞社などの各メディアに対して積極的に情報発信を行う。

状況を示す写真や資料等

権利の関係上、新聞記事や放送に関する写真や資料の掲載を割愛

評価軸6-1 その他(効果等)	
	評価対象年度 令和5年度
項目	
ローカルガイド育成事業(文化財観覧ガイド養成事業)における文化財観覧ガイド養成講座の受講者数	
計画に記載している内容	史跡下野薬師寺跡や下野国分寺跡等に訪れる来訪者等に対し案内・説明を行うガイドを養成するために、講習会やガイド認定制度の導入を行う。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付	
養成講座は実施しなかったが、しもつけ風土記の丘資料館での体験講座(5講座)でのサポート及び史跡巡りウォーキングでの解説、天平の桜花会において文化財の解説ツアーを実施した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	コロナ禍によりガイド養成講座を実施できなかったこととあわせ、解説等を実施することができなかったことなどにより、ガイドの登録人数が減少している。そのため、今後の講座の開催方法や、ガイドの在り方などについて検討が必要。
状況を示す写真や資料等	
養成講座の受講者の推移 H30: 講座6回 延べ受講者 304人 H31: 講座5回 延べ受講者 341人 R2: 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 R3: 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 R4: 新型コロナウイルス感染症対策のため中止 R5: 次年度以降の講座等の在り方について検討を行った。	

評価対象年度	令和5年度
--------	-------

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称: 第6回下野市歴史的風致維持向上協議会

会議等の開催日時: 令和6年2月29日(木)

(コメントの概要)

①伝統文化関係団体における担い手が高齢化しているため、サポート等の継続実施や、募集の周知方法を検討ということだが、具体的にはどうということか。

②下野市独自の伝統文化の継承の活動はどうか。

③下野薬師寺いにしへの道の道路美装化について、歴史的風致に本当に適合しているかということと、耐久性の問題があるが、何か考えられるところはあるか。

④駅～天平の丘公園までのマイクロバスが1時間に1本(花まつり時期の土日のみでも)あるとよい。また、バスツアー等のイベントの在り方はどうか。

⑤干瓢生産・消費推進事業について、ふくべ細工講座のみならず、事業を拡大して地域をどんどん活用していただきたい。干瓢の付加価値を皆さんにより感じていただきたい。

⑥天平の丘公園における西駐車場の再整備について、非常に広い立派な駐車場ができたが、ここに歴史的風致、自然的風致があるのか。また駐車場として必要最低限の面積を確保したうえで、空いたスペースの様々な使い方を考えていけるとよいのではないか。

⑦ローカルガイド育成事業について、ガイドやガイドを目指す方の予習や復習材料となるような育成講座のためのテキストはあるか。

⑧情報案内説明板設置事業におけるデザインの統一性について、そこまで景観を損なうようなものには見えない。コンテンツ部分で内容のわかりやすさを充実させるとよいのではないか。

⑨効果・影響に関する報道について、新聞に限定することなく、下野市の取り組みの認知状況確認を兼ね、いろいろ調べたほうが良い。

(今後の対応方針)

①募集に関しては、情報誌エールへの掲載や、小中学生を対象としたものについては、学校通知により募集を行った。また、指導者の高齢化に関しては、事務関係の支援をしている。

②コロナ以前はフラデッポウなどの体験事業を実施していた。公民館と協力して事業を展開していきたい。お囃子は装束や楽器の類の修繕などに対する補助のメニューの活用などの活動を検討していく。

③耐久性については、歩道のみならず車道も含まれるため、安全性や騒音、振動なども考慮する必要がある。メンテナンス性を考慮した先進地の取り組みを参考に進めていく。

④時期及び歴史的風致との関連も含めて検討していく。

⑤干瓢生産者の持続・振興については、苗や生産機械施設の補助を行っている。また普及啓発として干瓢祭り等を行っている。ふくべ細工講座においては、市外や県外からの参加があった。今後も事業を実施しながら普及啓発・生産振興を検討していきたい。

⑥ベンガラ色の歩道は、道路が風土記の丘資料館から国分寺跡まで続いていく通路でわかりやすくなっている。風土記の丘資料館を見た後、国分寺跡までを誘導できるような形で施工した。バスツアー等で併せてご案内し、今後、歴史的風致をアピールできるようにやっていきたい。空いたスペースの活用については、いただいた意見含めて検討していく。

⑦風土記の丘資料館において、テキストを作成した。概要版と詳細版の二種類用意がある。

⑧カンピくんや東の飛鳥など、下野市として推進していく切り口から統一する意見もあるため、再度議論して検討していく。

⑨昨年、JR東日本の大人の休日倶楽部に「東の飛鳥」特集を組んでいただいた(発刊15万部)。冊子を持参して下野市へ来訪される方が多くあったため、そういったメディア効果も踏まえ、記載を見直すこととする。